

1 教育目標	「自ら考え、やりぬく子を育てる」 ひとりひとりを伸ばす教育を基盤にすえ、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成に努める。
--------	--

2 指導目標 (めざす児童像)	・自ら学びよく考える子 ・思いやりのあるすなおでやさしい子 ・心身ともに健康でたくましい子
-----------------	---

3 自己評価 (達成状況) と学校関係者評価		【A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない】	
本年度重点指導事項	評価項目	評価	取組の現状
「確かな学力」の育成	①めあてを示し、自ら課題を見つけて主体的に取り組めるように工夫	B	・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善 ・個に応じたきめ細かい指導の工夫 ・各教科における言語活動の充実 ・図書ボランティアや家庭・地域と連携した読書活動の推進
	②振り返りを行い、学び(成長)が実感できるように工夫	B	
	③協同的探究学習の手法を用いて多様な考えを引き出し、深めた	C	
	④指導と評価の一体化を図り、児童の状況に合わせて授業を工夫	B	
	⑤個に応じた指導で、基礎・基本の習得を図る	B	
	⑥学習支援が必要な児童への配慮	B	
	⑦モジュールを活用した計画的・継続的な反復学習	B	
	⑧コロナ禍におけるカリキュラムマネジメント	B	
	⑨言語活動を充実させ、「ことばの力」の育成に努める	B	
	⑩相手を意識した伝え合い方を意図的に授業に取り入れた	B	
	⑪読書活動の充実	C	
「豊かな心」の育成	①安心して帰属できる学級づくり	B	・豊かな人間関係を育む学級・学校づくりと主体性を育む特別活動の充実 ・人権意識を高める人権教育と「特別の教科 道徳」を要にした道徳教育の推進 ・地域の特性を生かした体験活動とキャリア教育の充実
	②自主的な態度を育む学級活動	B	
	③いじめを許さない意識の醸成、心の通い合った学級づくり	A	
	④豊かな人間性、社会性を育むクラブ活動	B	
	⑤相手の目を見てあいさつ	A	
	⑥互いに認め合える、多様な他者との共生に向けた人権教育	B	
	⑦「考え、議論する」道徳の実施と授業時間の確保	B	
	⑧学年に応じた情報モラル教育	B	
	⑨コロナの正しい知識の浸透と偏見・差別を生まない人間関係づくり	B	
	⑩教科横断的な体験活動の実施	C	
	⑪地域人材等を活用したキャリア教育の充実	C	
「健やかな体」の育成	①運動の習慣化、体力を高める学習活動	B	・楽しく体を動かす体育科授業や遊びの工夫で体力・運動能力の向上 ・望ましい食習慣の形成を図る食育の充実 ・心身の健康課題に適切に対応する健康教育の推進 ・学校の実態に応じた安全防災教育の充実
	②栄養教諭と連携した食育指導	A	
	③なかよし農園を絡めた食育の充実	B	
	④遊び時間を確保し、健康で活力ある生活習慣の涵養を図った	A	
	⑤マスク・手洗い等、感染予防対策の徹底	A	
	⑥養護教諭と連携したいのちを大切に保健康教育	A	
	⑦けがの防止等の保健安全指導	B	
	⑧なまこし学級への理解、共に生きる思いやりの心の育成	B	
特別支援教育の充実	②なかよし学級との相互理解を深める活動を工夫した	C	・インクルーシブ教育システムの構築と共同及び交流学習の充実 ・障がい特性の的確な把握と効果的な個に応じた支援指導の推進
	③特別支援教育への理解を深め、児童への適切な支援に努めた	B	
	④合理的配慮・支援を全教職員の共通理解のもとで実施	B	
	⑤コーディネーターを中心とした校内支援体制の構築	B	
	⑥個人目標の設定し、資質能力向上に向けて研鑽を積んだ	B	
教職員の資質向上	②計画的に教育活動を実施し、評価に基づいて改善を行った	B	・個人目標を掲げ、研究・研修に励んだ。 ・コロナ禍で、互いの授業を見合ったり、全校的な研修を行うことができなかった。 ・OJT、校内研究を活用した個々の教職員の専門性及び実践的指導力の向上 ・教職員の協働協力体制の構築と働きがいのある職場づくり
	③定時退勤の実行	A	
	④自身の働き方の見直しと職務の効率化、勤務時間の適正化	B	
	①校内・登下校・緊急時の危機管理、安全・防災教育の推進	B	
安心・安全な学校づくり	②いじめの積極的な認知と情報共有・組織的対応	B	・危機管理マニュアルの活用と家庭・地域との連携協働体制の強化 ・教育相談体制の充実と不登校・いじめへの組織的取り組みの徹底 ・登下校を含む交通安全指導に取り組んだが、まだまだ十分とは言えない現状がある
	③いじめの未然防止(温かい人間関係づくり)と早期発見	B	
	④SC・SSWと連携した、いじめ・不登校への適切な対応	B	
	⑤心の通い合った人間関係にもとづく生徒指導	B	
	⑥生徒指導上の課題の情報共有と組織的対応	B	
	⑦たよりやHPによる積極的な情報発信	B	
開かれた学校づくり	②コロナ対応についての情報提供と共通理解	B	・HPの更新を心がけたが、コロナ禍で参観日が実施できなかった分、更なる情報発信を求めている声があった。 ・コロナ禍でこども園・中学校との交流がなかった。
	③保護者との連絡を密にして信頼関係の構築に努めた	B	
	④こども園・中学校との連携を工夫	B	
	①たよりやHPによる積極的な情報発信	B	

【学校関係者評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応で大変だったと思うが、少数指導等、学習にしっかり取り組んでいる。 ・行事がなく、思い出づりができなかったのがかわいそうだった。来年度はやり方を工夫して、できるだけ行事を実施してほしい。 ・読書量が少ないのが残念だ。新聞などを読む機会を作してほしい。 ・いじめ対策について、家庭・地域への更なる情報発信が必要ではないか。 ・あいさつをしない児童が多いので、大人の方も根気強く声をかけていきたい。 ・まだまだ予算を許さない状況なので、コロナの感染予防対策をきっちりと続けたい。インフルエンザが少なかったのは、マスク・手洗いの徹底があったからではないか。これからも習慣づけてほしい。
-----------	---